

セミナー開催後 レポート

人材難と言われて久しい現代において貴重な存在である外国人材ですが、これまでも採用から育成、マネジメントにおいてさまざまな課題がありました。そんな中で新型コロナウイルスの感染拡大により、新たな課題に直面している企業様も少なくないはずです。

去る2021年7月14日、外国人材を採用する企業様の課題解決に取り組んでいるカムテックが、外国人雇用の管理業務支援システムを展開する日立システムズの協力を受け、「コロナ禍で求められる非接触型外国人管理」をテーマとするWEBセミナーを開催しました。その様子について、レポートにて紹介いたします。

■コロナ禍における新たな外国人管理について学ぶセミナーに23名が参加！

日立システムズ応援登壇

コロナ禍で求められる 非接触型外国人管理とは？

2021.7.14 WED
14:00-15:00



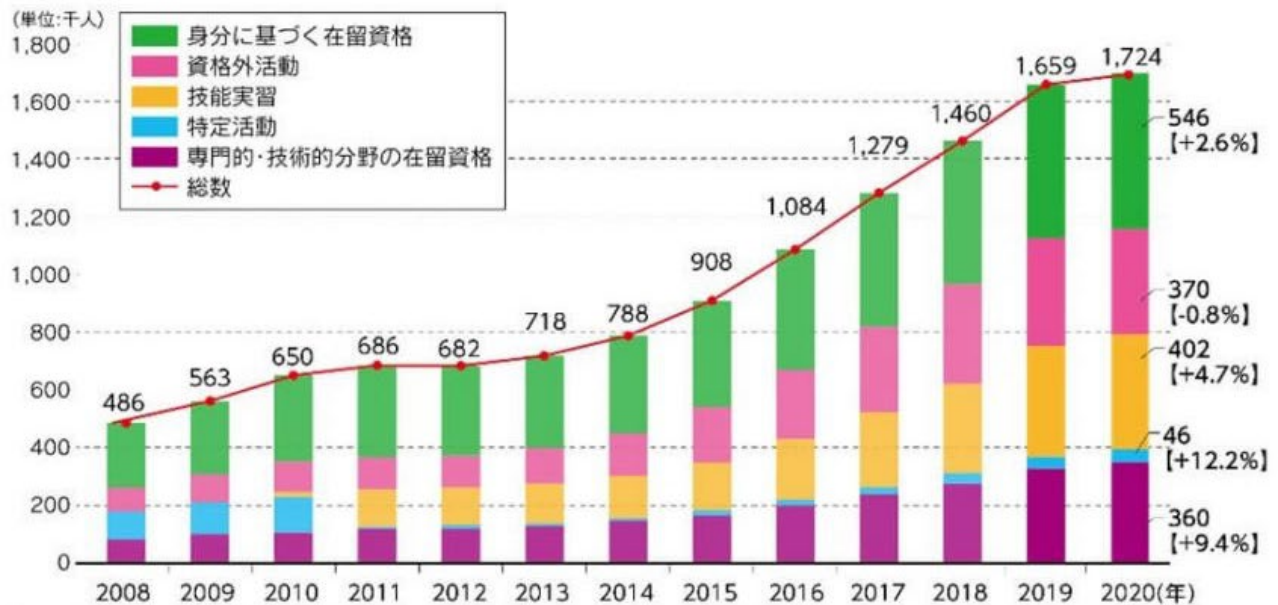
当日はすでに外国人材を活用している企業様、および採用を検討中の企業様などから23名の採用担当者様にご参加いただきました。

外国人材の活用にあたってはコロナ禍以前からさまざまな課題と向き合う必要がありましたが、コロナ禍によって接触機会の制限などの新たな課題も浮かび上がっています。また、外国人に限らず人材採用におけるDX化の流れが加速していることもあり、セミナーでは外国人雇用管理システムと日本語教育分野において、現在とこれからの時代に則した新しい形をわかりやすく解説いたしました。

■外国人管理システムや教育DX化などについて、データや事例を挙げてご紹介

当日はカムテックの【鮫島慎吾】が進行役として、日立システムズにて外国人雇用における管理業務を支援するクラウドサービス「外国人雇用管理サービス」の営業担当である【高木大毅】氏、そしてカムテックの教育コンテンツ開発担当である【藤居真紀】が解説役として登壇しました。

在留資格別 外国人労働者数の推移



注1:【 】内は、前年同期比を示している。

注2:「専門的・技術的分野の在留資格」とは、就労目的で在留が認められるものであり、経営者、技術者、研究者、外国料理の調理師等が該当する。

注3:「身分に基づく在留資格」とは、我が国において有する身分又は地位に基づくものであり、永住者、日系人等が該当する。

注4:「特定活動」とは、法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動を行うもの。

注5:「資格外活動」とは、本来の在留目的である活動以外に就労活動を行うもの(原則週28時間以内)であり、留学生のアルバイト等が該当する。

出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届け出状況（令和2年10月末現在）

第一部は「外国人雇用状況とその課題」と題し、キャムテックの鮫島慎吾が登場。国別・在留資格別外国人就労状況や今後の受け入れ見込み、外国人材の採用状況と課題についてデータを交えながら解説。課題への向き合い方、実際の課題や具体的対処方法などをわかりやすく紹介しました。

1. 本サービスの概要

外国人の雇用時に必要となる管理業務を支援するクラウドサービスです。

雇用する外国人の在留資格に応じた必要書類・データを共有するとともに、各書類の期限管理や帳票作成の支援を行い、**管理業務の効率化のみならず、コンプライアンス強化を実現します。**

情報管理

資格ごとに管理項目が異なるので煩雑。紙の書類を棚で管理しているから、探すのも大変...

在留資格に応じた管理項目を自動抽出。クラウドサービス上でデータを管理するので、ペーパーレスで検索も簡単！



情報共有

資料を添付したメールや電話で情報共有。

メール誤送信が心配...

ログインIDと閲覧権限を持っていれば、担当者間でも同じデータを参照可能！



期限管理

エクセルに記載した更新期限をチェックして対応。

対応が漏れないか心配...

更新期限前に、システムからフォローメールが自動配信。アラートチャートでも確認できて安心！



第二部は「選ぶべき外国人管理システム」と題し、管理システムに求められる役割を説明した後、日立システムズの高木大毅氏がクラウドサービスである「外国人雇用管理サービス」について、機能やメリットなどの紹介を行いました。画面上でデモンストレーションを行いながら、さまざまな課題に対して「外国人雇用管理サービス」がどのように解決できるのか、具体的な例を挙げながらわかりやすく解説しました。

オンライン教育の必要性

コロナ前

- ・ 社内での集合研修
- ・ 外部教育機関への訪問研修
- ・ 休日等時間外でのイベント 等

コロナ禍

感染リスク拡大防止のため集合型は困難

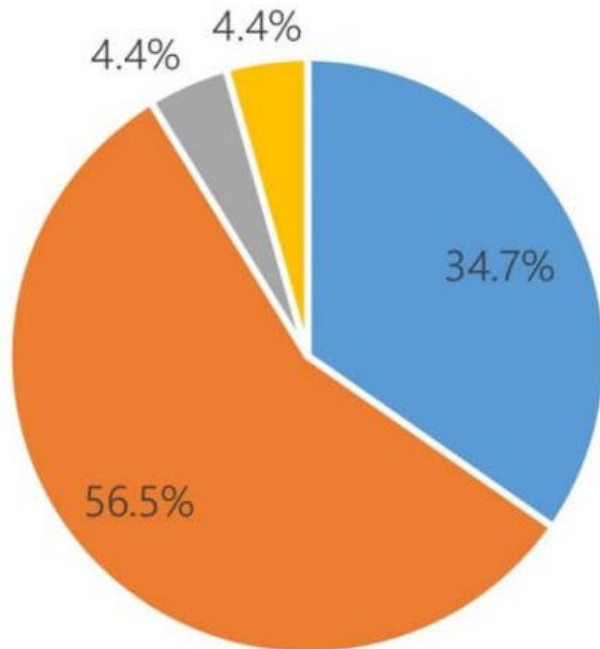


オンライン型学習コンテンツ

第三部は「コロナ禍でもできる教育DX」と題し、コロナ禍でも日本語などの教育が可能で、かつ成果につながる解決策として、オンライン教育システムの必要性を紹介しました。最初に外国人材の日本語スキルに関する実情をお話した後、キャムテックの藤居真紀が新たな教育プラットフォーム「edupoke（エデュポケ）」を紹介。導入事例や効果などについて、デモンストレーションを交えながら具体的な説明を行いました。

■満足度 91.2%！外国人管理システムに関心を寄せる企業様も！

セミナーの満足度



91.2%

- 非常に参考になった
- 参考になった
- どちらともいえない
- 全く参考にならなかった

参加された方の満足度は91.2%で、皆様セミナーの内容に学ぶところが多かったようです。

外国人材活用で課題に感じていること（複数選択可）



すでに外国人材の雇用や活用を行っている企業様15社に「外国人材活用で課題に感じることを伺ったところ、「日本語教育」を挙げる声が極めて多い結果となりました。これはいかに言葉によるコミュニケーションが重要で、外国人材の活用に

おいて高いハードルになっているかを表しています。

また、参加された方からは、以下のご意見もいただきました。

「大変参考になりました」

「外国人雇用管理サービスに興味がわきました」

「edupokeのコンセプトが、当社の顧客ニーズに近いと思いました」

「もう少しゆっくり話していただけると、より深く理解できると思います」

外国人材の雇用について、それぞれに抱える課題に向けたソリューションを求める声が多いことを感じました。同時に、関心の高さゆえに厳しいご意見もありました。いただいたご意見やご感想は、今後のセミナー運営に活用させていただきます。

■注目のGMSセミナー

キャムテックでは、海外人材マネジメントサービス【GMS】のセミナーを定期的を開催しております。より具体的に現場のニーズに即したテーマを提供してまいりますので、ぜひご参加ください。

<https://gms.ca-m.co.jp/archives/seminar/>